**学習実施計画書**

平成　　年　　月　　日

　さとうきびを使った食育学習プログラム　校外学習実施計画（案）

　　　　　　　　　　立案者

１　単元名　　　さとうきびを育てよう（総合的な学習の時間）

２　ねらい

* 普段接しない植物について筑波実験植物園と連携して調べたり、発表したりすることを通じて日本の気候、自然への理解を深め、関心を高め、生活に活かすことができる。
* 筑波実験植物園でサトウキビをはじめ、特徴のある様々な植物を観察したりすることで植物の多様性、生命の不思議等を実感することができる。
* サトウキビ収穫までの観察記録を協力して作成することができる。

３　期　日　　　平成　　年　月　日（　）　　　雨天実施

４　実施場所　　　筑波実験植物園あるいは土浦特別支援学校

５　指導計画

1. 事前学習（日本や熱帯地方の植物を調べよう）　２時間
2. さとうきび植付け【植物園】　　　　　　　　　４時間
3. さとうきび夏の観察【植物園】　　　　　　　　４時間
4. さとうきび秋の観察【植物園】　　　　　　　　４時間
5. さとうきび収穫と砂糖作り【植物園】　　　　　６時間

６　日程及び主な活動

|  |  |
| --- | --- |
| 時　間 | 日程及び主な活動 |
| ９：２５  ９：３０  １０：００  １０：０５  １０：１０  １１：１０  １１：２０  １１：４０ | ○昇降口前に集合。  ○学校出発  ○筑波実験植物園到着  　①植物園職員の紹介、植物園の使い方の説明  　②２つのグループに分かれて、３０分ずつ交互に活動  　　　A班：さとうきびに関する授業  　　　B班：植物園の学習  ○植物園職員からの話  ○筑波実験植物園出発  ○学校到着 |

７　参加生徒

　　高等部　年：男　名，女　名　　計　　名

８　対応職員　　特別支援学校　　　　名

　　　　　　　　筑波実験植物園　　　名

9 　利用交通機関

10　経費

11 持ち物　　作業服，筆記用具，水筒，雨具，軍手、バインダー，デジカメ等

12　係分担　　実施計画立案（　　），渉外（　　）写真（各グループ），

救護（　　），生徒指導用写真（　　）

緊急連絡先一覧（　　）

会計（　　），バス利用手続き（　　）

13　緊急時の対応について

　　・急病及び怪我の場合

　　　状況を判断し，学校に連絡し指示を仰ぐとともに，関係施設の救護室を利用し対処する。

　　　　　　　　　　場合によっては，保護者に連絡するとともに救急車を依頼する。

　　・行方不明の場合

　　　　　　　　　　直ちに活動を中止し，学校に連絡し指示を仰ぐとともに，捜索班と掌握班に分かれて生徒

　　　　　　　　　　の捜索と掌握に当たる。５分間探しても見つからない場合は，関係施設に園内放送を依頼するとともに関係機関等に協力を依頼する。

　　　　　　　　　　　　＜掌握班＞

　　　　　　　　　　　　＜捜索班＞

・災害時の対応

　　　　・計画の日程や活動に変更が生じた場合は，その時点で管理職にその旨連絡を入れ，

　　　　　当日の動きを明確にする。

　　　　・災害が発生し，学校との連絡も不通で，移動（帰校）手段もない場合は，安全を確認しながら一次避難所へ移動し，連絡や迎えを待つ。

　　　　・学校においては，最寄りの警察や消防署と連携して避難状況の確認に努め，確認事項等を保護者へ伝える。

14　その他

　　　 ・服装は，制服とする。

* 薬や着替え等は，必要に応じて持参する。